

愛媛大学のeラーニングニュース

ハードウェアからソフトウェアまで、愛媛大学のeラーニング情報を中心に、幅広くお届けします。

TOPIC 1 ご存知ですか? この春から「eラーニングコンテンツ制作受付方法」を一新しました!

これまで、教育デザイン室にコンテンツ制作依頼をいただいた多くの先生方からのご意見をもとに、科目の特徴や先生方のねらいをより丁寧に反映し、さらに充実した支援へと推進させるべく、制作依頼の受付方法を一新いたしました。

この春スタートした新受付方法を皮切りに、教育デザイン室一同、よりきめ細かいコンサルティングと質の高いコンテンツ制作の実現に向けて取り組んでいます。

平成 26 年度開発受付期間

- 前学期開発分：3月1日～4月末日
- 後学期開発分：7月1日～8月末日
- ※学内 BBS メールでも案内致しております。
- ※次年度以降も同様の期間を想定しております。



なお、どのようなコンテンツが作れるのか?どのような支援が受けられるのか?など、制作依頼前の疑問・質問等については、随時受付しております。ぜひお気軽にご相談ください。

また、受付期間外は開発状況等を鑑み、受付できない場合もございますが、開発が可能かどうか調整させていただきます。

◆eラーニングコンテンツ制作依頼方法

制作を希望される場合は、以下の手順でお申込みください。

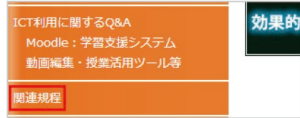
1 愛媛大学教育デザイン室のホームページにアクセスします。

URL <http://idoffice.cite.ehime-u.ac.jp/>

「愛媛大学 教育デザイン室」で検索、もしくはURLを直接入力してください。



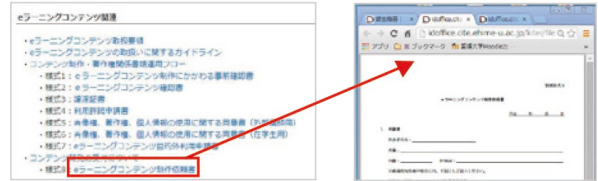
2 トップページから、「関連規程」をクリックします。



3 「eラーニングコンテンツ関連」より「コンテンツ開発の受付について」をクリックし、ご一読ください。



4 「eラーニングコンテンツ制作依頼書」をクリックし、ご記入の上メールにて idoffice@stu.ehime-u.ac.jp までお送りください。



TOPIC 2 愛媛大学 Moodle2 の「課題提出」に新しい機能が追加されました

Moodle2の「課題提出」に、2つの機能が追加されました。

1 オンラインテキスト課題一括ダウンロード

学生が「オンラインテキスト」で提出した課題を、Excel形式で一括ダウンロードできるようになりました。学生の提出課題を、一覧で確認できます。

2 課題の連携機能

「課題1」「課題2」など複数の課題を設定している場合、学生が「課題1」を解答し終えた後に「課題2」が開く(解答できるようになる)など、連携ができるようになりました。

◆操作手順の確認方法

愛媛大学 Moodle2 のトップページより「Moodle 利用に関する Q&A」をクリックし「課題提出」項目から確認できます。



メディアスタジオの対談セットにて撮影

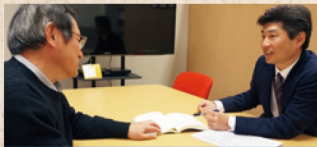
教育デザイン室

愛媛大学総合情報メディアセンター 教育デザイン室は、ICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術) を活用した授業構成の見直し、コンテンツ制作のサポート、講義などの撮影、eラーニングの運用サポートなどを行います。



私たちがサポートします!

教育デザイン室のしごと



授業科目担当者へのICTを活用した教育支援

インストラクショナル・デザイン (ID / 教育設計) の手法をもとに、ICT を活用した授業構成の見直し及び授業をより効果的・効率的・魅力的なものにするための授業設計の支援を行います。

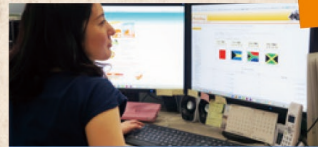
具体的な支援

- ・授業設計コンサルティング
- ・シラバス作成コンサルティング
- ・講義法コンサルジェ など



コンテンツの開発・制作支援

シラバスや講義資料などをもとに、資料の効果的な提示方法のご提案、教材のブラッシュアップ、講義の撮影・編集など、eラーニングコンテンツの制作支援を行います。



eラーニング運用サポート

コンテンツ公開後も、使い方が分からないなど困った時でも、スムーズに運用できるようにサポートします。また、学内ネットワーク環境や Moodle システムの改善など、ICT を利用しやすい学内環境の整備を提案していきます。



研修会の開催

「学習意欲を高めるための ID 入門」など、授業設計に関する研修を行います。また、Word、Excel、PowerPoint などの ICT 研修会開催、教育事例の紹介など、利用者の教育実践を支援します。

こんな時に!

- eラーニングを活用してみたいが、どうすればいいかわからない
- Moodle を利用してみたいが、使い方がわからない
- 授業をより良いものにしたいが、どこを改善すればいいのか分からない